

## 新設小学校3校で開校式

常北小学校・桂小学校・七会小学校

小学校再編に伴い新設された常北小、桂小、七会小の開校式が行われました。

それぞれの式典の冒頭では東日本大震災の犠牲者に黙とうがささげられ、哀悼の意を表しました。

新しい校章が描かれた校旗が町長から教育委員長、教育委員長から校長へと授与されたのち、校長から「地域とともに新しく学校の歴史を築いていく」と決意が述べられました。



▲七会小学校 校旗授与

最後は全員で校歌を斉唱。新しい校歌を児童たちも一生懸命歌いました。



▲常北小学校 職員紹介



◀桂小学校 校歌斉唱

## 再編で閉校となる各小学校で閉校式

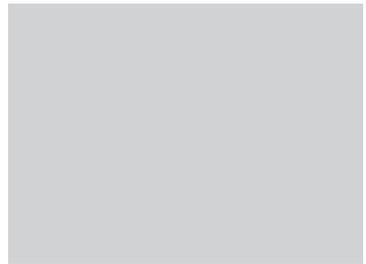
町内各小学校

3月、再編で閉校となる7つの小学校で、それぞれPTAや地域の方を中心とする実行委員会主催の閉校式が行われました。

明治6年創立、137年の歴史に幕を閉じることとなった北方小学校では当初12日に予定していた閉校式を震災のため18日に延期し、卒業式と同日開催。阿久津町長をはじめとする来賓、在校生、保護者らが参加しました。

式典では校旗を阿久津町長に返納し、児童たちが「believe」を合唱するなどしました。また、閉校式のあとには記念碑の除幕式が行われ、校歌が刻まれた記念碑の前で記念写真を撮りました。

卒業式では、14人の卒業生が学び舎を巣立ちました。北方小学校最後の卒業式にふさわしく、厳かに式は執り行われ、卒業生たちは慣れ親しんだ校舎をあとにしました。



## 新しい学校生活に期待ふくらむ入学式

町内小中学校

さわやかな春の風が吹きはじめた4月、町内の小中学校で入学式が行われました。

七会中学校では、少し大きめの制服に身を包んだ新1年生が緊張の面持ちで入場。祝辞や上級生の歓迎のことばを真剣なまなざしで聞いていました。

沢山小学校では、震災のため体育館が使用できず、音楽室で入学式が行われました。2年生から5年生の児童は室内に入りきれないため、廊下に並び新1年生を歓迎。来賓をはじめ保護者、教員、上級生たちが初々しい新1年生の門出を祝福しました。担任の先生の呼名に元気に応える様子は、もうすっかり立派な小学生。その笑顔は、新しい学校生活への希望に満ちていました。



七会中学校

平成23年度入学者数	
石塚小学校	71人
常北小学校	21人
沢山小学校	18人
桂小学校	18人
七会小学校	15人
常北中学校	138人
桂中学校	67人
七会中学校	16人



沢山小学校

### お知らせ 常北中学校校舎損壊に伴い生徒が県立常北高等学校の校舎を利用します

東日本大震災により常北中学校の校舎が大きな被害を受けたため、2・3年生は当分の間、県立常北高等学校の校舎の一部を借用し授業等を行います。生徒が通常と異なる経路で通学することや学校間を行き来することがありますが、ご理解をお願いします。

問合せ 常北中学校 ☎029 - 288 - 2025 教育委員会事務局 ☎029 - 288 - 7010

## 統計調査員が農林水産大臣表彰

昨年実施された世界農林業センサスに従事した皆川貞一さん(御前山)、綿引弘二さん(春園)、鶴田力さん(塩子)に、農林水産大臣より「2010年世界農林業センサス功績者表彰」が授与されました。

3人は町の農林業経営の実態を明らかにし、農林業に関する基礎資料を整備する調査活動に尽力した功績が認められ、表彰を贈られました。



写真左から阿久津町長、鶴田さん、綿引さん、皆川さん

## 少年団が被災地に義援金を贈る

桂サッカースポーツ少年団が、東日本大震災の被災地の方々の生活に役立つようにと茨城新聞を通して義援金を贈りました。

少年団のメンバーは、震災で困っている人たちに対して「今自分たちにできることは何か」を考え、自分の貯金箱やお小遣いからお金を出し合い38,666円を集めました。



被災した方々が一日でも早く復興できるよう少年団団員一同心から願っています！

## 3/9 石塚小5年生がサケの稚魚を放流

下青山/西田川

石塚小学校の5年生の児童94人が、下青山地内の西田川でサケの稚魚の放流を行いました。

児童たちは昨年12月に那珂川漁業協同組合からいただいた卵をふ化させ、一生懸命大切に育てていました。そしてこの日、5センチほどに育ったサケを川へと放しました。

吉川僚慶くんは、「稚魚を育てるのは大変だったけど、今日、放流できてよかった。4年後にまたこの川に戻ってきてほしい。」と感想を話していました。

稚魚は西田川から藤井川、那珂川を經由し太平洋へ向かい、産卵のため再び同じ川に戻ってきます。広い海原を漂いながらもふるさとの川を忘れないサケ。人間もサケもふるさとを慕う気持ちは同じかもしれませんね。



## 1/16 小学校の新1年生に防犯ブザー寄贈

株式会社常陽銀行石塚支店長から防犯ブザーが町に寄贈されました。

常陽銀行では、児童ひとりひとりの防犯意識の向上につながればと、平成17年から毎年防犯ブザーを町に寄贈しており、今年で7年目になります。

防犯ブザーは、町内の小学校の新1年生に配られました。



写真左から石原教育長、鬼沢支店長、阿久津町長